

まちのわだい



手に汗握るチビっ子相撲

夏休み最後の日曜日、白根小学校土俵場でチビっ子相撲大会が行われ、百八十人が参加し、熱戦を展開しました。声援を背に受けて、手に汗握る大勝負も何番か。男子に混じって四人の女子も健闘していました。

【大会成績(二位のみ)】 団体 白根小A 個人 一年小 熊幸司(白根小) 二年小 桜井智則(鷺巻小) 三年小 田村信康(白井小) 四年小 土田秀幸(鷺巻小) 五年小 田辺康喜(戸頭小) 六年小 小熊秀和(白根小)

地域福祉向上をめざし社会福祉大会

九月十日、産業厚生会館で、地域福祉の充実強化を考えようと、約二百人の市民が集まって、白根市社会福祉大会が開催されました。福祉活動に尽くされた人の表彰や四人の市民の方から私の主張・体験発表があり、記念講演も行われました。このあと、「日ごろの実践活動を通じて、一層社会福祉の向上に努力しよう」との大会宣言を、満場一致で採択しました。



ボランティア活動に張り切る青年たち



このたび、白根建設業協会青年部会(白井静男会長・会員二十人)は、同部会発足を記念して、保育所付近に、五十本の「保育所子供に注意」の看板を立て、各保育園の砂場に二、三ダンブで一台ずつの砂を入れてくれました。今後は、こうした活動のほか、交通事故や水死事故防止運動への協力、献血などのボランティア活動に、会員たちは張り切っています。

短歌

川柳

臥せる身のコスモス揺れる枕辺に
友の訃報を今朝ききにけり
小林キミイ

今日もまたロボットになる重い靴
もう一本指でおねだりするお燭
指切りをして安らかな子の眠り
花嫁に育てたごつい指の私語
長寿国ニッポン寝た切りが主役
終点は極楽目指す善を積む
開かない運は手相のせいにする
ロボットに押されて職人芸が泣き
終点をおぼろに感じた身の整理
進路で軍歌疎遠の老父となり

吉川 彰
中村 尚治
山岡 フミ
今井 七郎
高橋祐四雄
後藤まさの
西條 ムラ
吉川 末吉
竹石 甚五
大井 義雄

俳句

僕と言うロボット赤い血が流れ
横綱をめざして頑張る指相撲
敬老日主役は赤いチャンチャンコ
博学が時には邪魔になる酒席

阿賀路まだ紅葉に早く水枯る
唐傘を棚に吊して葡萄畑
苗植えし父の忌ぶどう出盛期
一房の葡萄は曲げて箱につめ
重き房なりし葡萄を子に送る
澄みきった空の広さとブドウ園
河童の雨だけが白ふ夏の行く
山葡萄鉢植三トセの実をつけし
送り主分からぬ上間の置ぶどう
兜城の鯉に想いし赤トシボ
朝の露おまけと葡萄卸さるる
亡妻の納骨終いし彼岸花

長井 徳市
岡村 清
米野 光雄
花岡 増男
石田 豊一
石田 豊美
坪川桐太郎
田中 昭一
真保 清三
針貝 静男
中山 義英
佐藤勇一郎
佐野 竹子
牛嶋 七郎
須戸 義夫
大旗 豊治

市長へのハガキ 市民の声 市職員の守秘義務と言動

市長へのハガキの中で「職務上知り得た個人の秘密を、市の職員が他に漏らしているという話を聞いた」「職員は、勤務時間外であっても市民の模範となる言動を」といった、職員教育をより一層厳しく望む声が寄せられています。市民のみなさんから、こうした批判が出されることは誠に残念なこと、特に、職員においては職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない「守秘義務」が、法律の上でも課せられているわけですが、飯にもご指摘のようなことがあったとすれば厳重に注意をし、今後、このような批判を受けることのないよう教育の徹底をはかり、行政の信用回復に務める考えです。また、職員の言動については、いろいろな機会を通じ、なお一層の注意を促していきたいと思えます。



お年寄りに思いやりを

感謝といたわりの気持ち忘れずに

家にこもり、友だちもなく、寂しく過ごすお年寄りがたくさんいます。人間、生きていくかぎり、一度は通らねばならない老いの道です。身近かな人が毎日の生活の中で、常に温かい言葉をかけてやることが、何よりの思いやりだと思います。

薄田キミさん(中央通り・主婦・47歳)

私にも主人の両親と私の母が八十歳にもなりましたが、今までこ

青少年非行に思う

非行防止には親のしつけ教育が先決

長沢一衛さん(戸石新田・農業・75歳)

昨今、マスコミをにぎわしている青少年の非行、特に低年齢化や校内暴力は目に余るばかりです。その原因を探ってみますと、一つには、戦後の教育問題があげられます。戦後は、義務を果たして、それから権利を教わったが、戦後、義務は一切忘れられ、権利だけが前面に出されたように思えます。自由主義が自由放題と、はき違えた教育がなされ、社会もそうした誤解がまかり通っています。決して全体とは申しませんが、戦後の学校教育を受けた人たちが、現在、お父さんやお母さんとなつて、自由放題主義の考え方で子供に接し、子供の要求には何でもよしよしと自由を与えているため、どんなことでも自分の思い通りに

育てられる家族との強いつながりがあれば、どんな贈り物より重みのある喜びがあるはずですが、ほんとうに小さなことしかできない私たちが、これからも共に楽しみ、感謝といたわりの気持ちを忘れずに心がけ、楽しい毎日であってほしいというのが、私の願いです。

なると思える子供になっているのです。自分の意にそわぬことがあれば猛反発し、親はやむなく子供の意に従うことになるのです。学校には、りっぱな先生がたくさんいます。良い人間教育をしようと努力すれば、父兄から抗議を受ける今日、親自身のしつけ教育が全然なっていないと思うのです。行政サイドで、子供を持つ父母のしつけ教育の場を設けて、徹底的に行ってほしいと思います。また、週刊誌などマスコミによる悪影響も見逃がせない事実です。余りにも露骨な表現で、良い子供でも自然に悪の道に引きずり込んで行くのです。市民運動を盛り上げ、大きな団結力で自粛させるよう運動していきたいものです。